

大学とのコラボレーションを目指して

本年4月から大学の執行部が新しくなりました。若井新学長は教育小六法の編集や事例の解釈でおなじみですが、厳密な法令の中にも独特なユーモアに裏打ちされた解説が共感を得るところとなっています。

このページでは、学長の個人的な表現を拾い、同窓会と大学の今後のコラボレーションを考えて、みなさまにお伝えします。

大学の巻

- 上越教育大学は憲章に示す目標に沿って個性輝く大学を目指しています。
- 学部・修士・博士課程を持つ、教員養成の総合大学です。
- 社会的・政策的な課題に応じて教員養成の先端的取り組みを推進します。
- 力量のあるスタッフを配置して行きます。
- 大学教員の採用においても担当内容によっては教育経験を有する者を求めています。現在は、本学の教員の46.9%が学校現場教育の経験者です。また、本学の教員の20%が本学修士課程の修了者であることも大きな意味を持っています。

同窓会の巻

- 学部、修士修了者をサポートする同窓会30年間で、本学修士課程修了生の数は5,399人、学部卒業生の数は4,761人となり、9人、学部卒業生の教員数が91万人です。全国の小中高の教員採用で、勤業すると全で、修了卒業生の教員採用率で、勤業すると全国では、およそ教員の130人に1人は本学関係者になります。
- 同窓会の目的は「同窓会同窓会は、会員相互の親睦と啓発、」大学院同窓会は、会員相互の親睦と啓発し、「大学院同窓会は、会員相互の親睦と啓発し、教育に関する諸問題に対して意見を交流し、上越教育大学の発展充実に寄与すること」です。
- 励まし合う仲間作り
宮城、千葉、東京、横浜、埼玉、新潟、長野、群馬、静岡、愛知、富山、石川に同窓会の支部ができています。

同窓会の支部を立ち上げて参りましょう!!
支部会開催の折には、大学の現状と取り組みについて学長が講話をしますのでお知らせください。

同窓会事務局長 中村 雅彦 教授



同窓会連携事務局